

ふるさと学習にかかわる取組紹介

～麻里布小学校～

【1年生】

学校安全ボランティア

入学したばかりの1年生が安全に下校できるように、地域の方に見守っていただいた。一緒に下校する中で、通学路や危険箇所を教えていただいたおかげで、1年生も学校に慣れ、大きな怪我もなく、自分たちだけで元気に下校できた。ボランティアの方には、3月の一斉下校の会で、お礼のメダルをプレゼントした。



生活科 公園探検（ブタ公園・カバ公園）

麻里布小学校の校区にある公園に出かけていった。公園で思いきり体を動かして遊ぶことを通して、自然との触れ合いや公共施設の利用など、いろいろな体験をすることができた。よく知っている公園でも、探検することで、新たな発見をする児童もいた。また、初夏と秋に行くことで、季節の変化にも気付くことができた。

生活科 昔からの遊び

地域の方から昔から伝わる遊び（こま、だるまおとし、けん玉、お手玉、おはじき、ヨーヨー、あやとり）を教えていただいた。遊びのコツやルールを学び、練習して上手になることができた。地域の方との交流後も、休み時間にこま回し等をして遊んだり、自分たちでルールを考えて遊んだりしている様子がよく見られ、昔からの遊びに親しむことができた。



読み聞かせボランティア「どれみ」

地域の方が、毎月第2水曜日に1年生教室に絵本の読み聞かせに来られた。2冊の絵本を読んでいただき、児童も身乗り出して楽しそうに聞いていた。

【2年生】



生活科「大きくそだて わたしのやさしい」

野菜名人として麻里布小学校の学校運営委員の方に野菜の育て方のポイントについて詳しいお話をしていただいた。畑で育てている野菜について分からないことを質問したり、アドバイスをいただいたりすることを通して、野菜作りへの意欲を高め、より親しみをもって世話をすることができるようになった。

生活科「もっと知りたい！町のたんけんたい」

地域のお店や公共施設など、4カ所に分かれて町探検を行った。お店や施設の中を見学したり、インタビューをしたりする体験を通して、今まで知らなかった町の様子や町の良さ、魅力を発見し、地域に親しみをもつことができた。また、町探検に行くだけでなく、探検先でお世話になった地域の方に「町のすてき発表会」を見てもらうことで、再度交流の場を設けることができた。学校に地域の方が会いに来てくれることに子どもたちは喜び、学習意欲が高まっていた。



九九ボランティア

九九の学習の習熟のため、地域ボランティアの方に協力をお願いした。昼休みに九九の暗唱を聞いてもらい、合格するとシールをもらう活動の中で、子どもたちは楽しみながら九九の学習に取り組むことができていた。地域の方を交えた九九の学習の機会を設定することで、学習効率が高まっただけではなく、地域の方と触れ合うことができるいい機会となった。

【3年生】

社会科 校区探検

麻里布小学校のまわりを地図を持って探検した。西方面は、白蛇神社に行って、白蛇の飼育施設や資料館を見学した。北方面は、2号線沿いを桜地蔵まで探検した。東・南方面は、岩国駅や東口まで行き、中通り商店街を回った。実際に校区探検をして、地図にまとめていくことによって麻里布小学校の周りの特徴をつかむことができた。



【4年生】

社会科「自然災害からくらしを守る」 防災出前授業

県の砂防課から講師を招聘し、県内で起こった土砂災害の写真や動画を見ながら、県内には災害警戒区域が約26,000箇所あることや土石流には前触れがあることなどを教わった。また、校区内のハザードマップを基に、自宅から最寄りの避難所までの安全な経路を確認した。後日、子どもたちの疑問や関心をもったことに答えていただき、さらに学習を深めることができた。



総合的な学習の時間「わたしたちの環境問題」

社会科「ごみの処理と利用」の学習から発展させ、プラスチック海洋ごみ、リサイクル、自然環境、食品ロスの4つをテーマに掲げ、グループごとに講師を招聘したり、改善に向けて活動に取り組んだりしながら課題を追究した。子どもたちは、世の中で叫ばれている環境問題が身近に起きていること、環境保全や生活改善に取り組む地域の人々の願いを知り、自分にできることを考え、取り組んでいる。

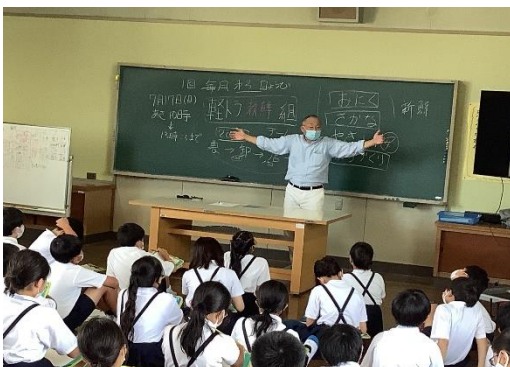
総合的な学習の時間 2分の1成人式

10歳を迎えたことを記念し、将来の夢を発表し合った。



【5年生】

総合的な学習の時間 いわくにまちづくりプロジェクト



「発見岩国のまちづくり」

商店街について学習する中で、中通り商店街でお店をされている方にお話を伺った。商店街の昔と今の違いや、現在の課題、工夫されていることなど、興味をもってきくことができた。トラック新鮮組の取り組みから、次の学習の課題へつなぐことができた。

【6年生】

総合的な学習の時間 「ようこそ先輩」

パティシエ、美容師、シンガーソングライター、消防士、医者、新聞記者、イチゴ農家などいろいろな職業の方の話が聞くことができた。それぞれ仕事に対する思いや、苦勞など聞き、自分の夢の実現に大切なことは何かを学んだ。



～麻里布小学校・麻里布中学校～

麻里布小中合同演奏会 「ふれあいコンサート」



麻里布中学校吹奏楽部と麻里布小学校金管バンドクラブは、毎年秋に合同で「ふれあいコンサート」を行っている。プログラムは中学校と小学校それぞれの演奏と合同演奏で構成されている。当日のスケジュールは午前中リハーサル、小中と一緒に昼休みを過ごし（コロナウイルス感染症拡大前まで行っており現在は学校別で過ごす）、午後は本番という流れになっている。活動中、中学生は小学生を常にリードし、奏でる音、表現の仕方、礼儀作法や準備・片付けなど、それぞれの立場で伝え、学び合う姿勢が見られ、演奏することの楽しさをあらためて感じるとともに、演奏する音にも変化が見られた。

このほか、二年前には「エデュケーション フェスティバル」（「英語があふれる町いわくに」をテーマに子供たちの日米交流や小中一貫教育のブラッシュアップなど、イベントを通じて体感できるイベント）にて合同演奏会を行った。

コロナウイルス感染症の影響で、色々な制限がある中での開催となっているが、今後は夏休みなどに合同練習をして交流を深め、演奏に臨むことができれば、これまで以上に一体感のある演奏が期待できるのではないと思われる。

～麻里布中学校～

職業講話

毎年、1年生が実施。市内8カ所程度の事業所等から講師を招く。生徒は2つの事業所を選んで受講し、仕事の心構えややりがい等について学ぶ。



職場体験学習

毎年、2年生が実施。中学校区を中心に市内30カ所程度の事業所等に協力していただき、生徒は2日間、各事業所で体験学習を行い、仕事の実際を学ぶ。

あいさつ運動

生徒会執行部を中心として行っている。教職員とともに学校運営協議会の方々にも参加していただき、毎週月曜日の登校時間に正門・西門・昇降口の3カ所に分かれ、登校して来る生徒へのあいさつや降雨通安全指導を行う。第三月曜日には小中合同でのあいさつ運動も行っている。



花壇整美

平成11年度から、環境教育の一環として花壇・緑化の整備を推進している。また、平成26年度から、コミュニティスクールの柱の一つとして位置づけ、生徒と地域ボランティアの方々が協力して花壇整備に努めている。主に、厚生委員会、美術部、英語・科学部、清掃区域担当の生徒と地域ボランティアの方々が花壇整備、苗の植え替え作業、水やり等を行い、夏休みには、部活動単位で花壇の除草作業や水やりを行っている。花壇を整備することで教育環境が向上し、花を育てること、見ることで、生徒の緑化意識が高まり、生徒の成長に繋がっている。

令和2年度から2年連続「岩国市花いっぱいコンクール」市長賞受賞。

